

平成 27 年度 知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンの実施状況

1 会議等の開催状況

○6月22日 第1回実行委員会

平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、次年度以降の活動について

○10月30日 第2回実行委員会

平成27年度事業報告、次年度以降の活動について

2 キャンペーン取り組み状況

(1) 啓発活動

○知床横断道路開通式での横断幕の掲揚及び待機車両（62台）に対して、パンフレット、シールの配布によるえさやり禁止の呼びかけ。

○公共施設、宿泊施設でのDVD放映、パンフレット配布。

○昨年に引き続き、北海道エネルギー株式会社ウトロ地区GSヨネザワスタンドで看板作成。

○昨年に引き続き、宿泊施設等の観光関係者のバッジ着用による周知。

○知床世界自然遺産10周年記念事業スカイバス等車両へのマグネットステッカー装着による周知。

○新宿御苑みどりフェスタでのポスター掲示、パンフレット配布。

○知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンHPにおいてヒグマへの餌付け行為が北海道条例により禁止される旨を掲載。

(2) 関連団体との連携事業

○知床五湖地上遊歩道利用者を対象にした、知床ガイド協議会による、缶バッジ配布による啓発活動。（7月17日）

○ガールスカウト北海道連盟50周年記念事業とのタイアップ。

「野生動物にエサを与えないで」という啓発活動を実施し、その中で「STOP! えさやり」のロゴマークを使用。

(3) 観光関係者への協力依頼

○運輸行政、運輸事業者への協力要請

○旅行会社向け観光プレゼンテーションにおいて、取組紹介。

(4) 強化月間の設定

○期間 7月11日～8月31日

○実施内容

・知床自然センターでパンフレット配布による街頭啓発活動（7月17日）

- ・道の駅うとろ・シリエトクでの啓発活動（7月18日～8月31日）
- ・宿泊施設等での啓発活動

（5）アンケート調査の実施

○効果検証を目的としたアンケート調査を実施。

（実行委員会による調査）

・7月17日に自然センターにて街頭調査を行った他、強化月間中に、道の駅にてアンケート調査を実施した。

（北大 愛甲先生による調査）

・道の駅うとろシリエトク、自然センター、世界遺産センター、知床五湖 FH にてアンケートを実施した。

○アンケート調査の結果（資料1-1②、1-1③のとおり）

- ・愛甲先生による調査では、キャンペーンの認知度について「訪問前から知っていた」：44%（昨年29%）、「今回訪問で知った」：30%（昨年55%）、「知らない」：26%（昨年16%）となり、昨年の北大調査結果よりも訪問前の認知度は高まった。一方で、実行委員会による調査では、訪問前から知っていた人は8%にとどまった。
- ・実行委員会の調査は、自然センター（7/17のみ）と道の駅での調査となっているが、愛甲先生の調査は、世界遺産センター、自然センター、知床五湖等でも調査を実施したため、この差が結果に表れたと考えられる。展示施設や遺産地域内の散策を楽しむ自然や環境などの要素に関心の高い利用者には一定程度認知され一定の成果は認められる一方で、知床を訪れる観光客全体に対する継続した啓発活動が重要である。

平成 28 年度以降の取組みについて

平成 25 年度から 3 年間の計画で実施してきた取組みについて、実行委員会で協議をした結果、取組み自体は実績を評価されていることから、実行委員会は解散せず休会とし、実施してきた取組みは、下記に示す役割で各団体が個別に継続し、協力を呼びかけ各団体と協働で実施することとする。(事務局体制は廃止する。)

特段の必要があれば、再結集し再度協力して取組みを実施する。

- 観光協会（知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会）
 - 1) 観光関係者への啓発活動協力依頼。
 - 2) 道の駅うとろ・シリエトクでの啓発活動。
 - 3) 知床横断道路開通式での啓発活動。
 - 4) Facebook を通しての啓発活動

- 知床財団
 - 1) 知床自然センターでの展示活動
 - 2) 啓発カードの作成

- 自然公園財団知床支部
 - 1) 遺産センターでの啓発活動

- 地域団体（自治会、地域協議会）
 - 1) マグネットステッカーによる啓発活動

- 関係行政機関
 - 1) 啓発品の作成
 - 2) 関連施設での啓発活動
 - 3) 道路電光掲示板による啓発活動
 - 4) HP を通しての啓発活動
 - 5) 会議等でのパンフ配布